

# 平成27年度アドバイザー派遣事業実施レポート

『教えて考えさせる授業』づくり研究会

## 1 研修テーマ

### 確かな学力の定着と人間関係力の育成 ～『教えて考えさせる授業』を通して～

本研究会は、子どもたちの確かな学力と人間関係力を育成するために、一人ひとりが自分の意見を発表し、より高い価値を見つけていこうとする「共に学び合い高め合う」授業づくりが重要であると考え、『教えて考えさせる授業』づくりについて研究を深めている。

## 2 アドバイザー

### 東京大学大学院教育学研究科教育心理学コース 教授 市川伸一 先生

習得すべき学習内容を明確に設定し、学習の中で繰り返し使いこなしていく場面を設けることで習得につなげ、メタ認知の育成も図っていく『教えて考えさせる授業』を実践していくために、理論面の指導とともに実際の授業につながる演習指導を行っていただける東京大学大学院教育学研究科教育心理学コースの市川伸一先生にご指導を仰ぎたいと考えた。

## 3 研修の概要

日 時	平成27年6月25日(木)	8:50～16:50
場 所	伯耆町立岸本小学校(西伯郡伯耆町吉長78-2)	
日 程	8:50～11:30	公開授業(岸本小学校全学級)
	11:35～12:20	公開授業についての指導助言(市川伸一先生)
	14:00～14:45	研究授業(岸本小学校5年生少人数指導・3コース)
		大山コース、日野川コース、日本海コース
	15:15～16:45	授業研究会(グループ協議と全体会・講義)
		指導助言者 市川伸一先生

## 4 研修の成果

「確かな学力の定着と人間関係力の育成～『教えて考えさせる授業』を通して～」の共通テーマのもと、午前中は岸本小学校の全学級授業公開、午後は岸本小学校5年生の算数少人数指導の提案授業とグループ協議・全体会による授業研究会を実施した。

グループ協議では、5～6人の小グループを編成して三面騷議法による授業研究を行った。『教えて考えさせる授業』の4段階(①教師からの説明、②理解確認、③理解深化、④自己評価)ごとに、参加者が付箋を貼りながら提案授業の研究・分析を行った。市川伸一先生の講義では、『教えて考えさせる授業』は、習得型の授業として有効な授業スタイルであること、授業の4段階ごとの指導内容や課題、目的を明確にしておくこと、授業の型よりも趣旨は意味理解であることなどの指導をいただき、とても有意義な研究会になった。